

第3期

議会モニターを募集します



■議会モニターの主な役割

- ▶議会が行う傍聴が可能な各種会議（本会議、委員会など）を可能な範囲で傍聴し、会議に関する意見を述べるすることができます。
- ▶瑞穂町議会だより「ギカイのひろば」・瑞穂町議会ホームページに関する意見を述べるすることができます。
- ▶委員会などから要請があった場合、会議に出席し、求めに応じて意見を述べるすることができます。

■応募資格 次のすべてに当てはまる方

- ・町内に在住、または在勤する18歳以上の方
- ・前向きで建設的な話し合いに協力できる方
- ・国または地方公共団体の議員（元議員を含む）や、常勤の公務員でない方

■募集人員 7名以内 ※再任は妨げません。

■任 期 令和7年4月1日より令和8年3月31日

■謝 礼 議会モニターは無償となります。

応募締切

令和7年3月10日(月)まで（必着）

申込み・問合せ先

議会事務局議事係 ☎557-7693

議員定数について議論

議員政策研究会へ依頼

議会運営委員会において「議員定数16に対して令和3年から1人欠員の状態が継続しており、町民からも議員定数に関する指摘があった。議員定数に満たない状況に対応することを検討する必要があるのではないかと」の意見がありました。

それを受け、議会運営委員会では議員定数に関する議論が始まりました。その後、広く議員の意見を聴取することが必要とのことから、議員政策研究会に依頼しました。

議員政策研究会では、議長を除く全議員が意見を出し合い、論点整理しながら意見をまとめ、議長へ報告書が提出されました。

令和7年1月24日に開催した
議員政策研究会



視察報告

★令和6年8月6日～7日

交通対策特別委員会

茨城県高萩市『MyRideのるる』と『デマンド型乗合タクシー』について AIを活用したコミバスで利便性向上

高萩市では、乗降客の多い朝と夕方から夜は民間事業者の定時定路線バス、日中は人工知能（AI）を利用して、利用者からのリクエストに合わせてバスの運行経路とダイヤを最適化して運行されるコミバス『MyRideのるる』に切り替えた結果、利便性が向上した。また、デマンド型乗合タクシーは年齢制限なしで誰でも登録し乗車でき、自宅から目的地まで電話予約で利用できる。利用料金は、「のるる」が1乗車大人300円、小人150円で、市内在住高齢者や通学者に対する運賃補助制度もある。また、デマンド型乗合タクシーは1乗車当たり400円。全体の経費は年間5,400

万円である。

瑞穂町で高萩市のようなAIを活用した中型バスを走らせるには道路整備などの課題も見えた。しかし、市が実施している高齢者・通学者割引、高齢者へのスマホ購入費助成、さまざまな場所で実施した登録や利用方法の説明会など、公共交通利便促進の幅広い支援の在り方は大変参考となった。



MyRideのるる

その他
視察先

茨城県那珂市
デマンド交通『ひまわりタクシー』の
運用について

◎委員長 ○副委員長

◎香取 幸子 ○下澤 章夫
下野 義子 原 隆夫 古宮 郁夫
大和 雅彦 川島 靖弘 山崎 栄（議長）

視察報告

★令和6年10月16日～17日

基地対策特別委員会

石川県小松市 基地周辺対策と軍民共用飛行場の実態について 補助対象として考えられるものをメニュー化

小松飛行場は、航空自衛隊小松基地と民間航空が滑走路を共有する飛行場である。小松基地は、国籍不明機の警戒にあたっており、F-15戦闘機の騒音の大きさは横田基地とは比べものにならないほど激しく、飛行回数も多い。市内には、騒音区域に所在する町内会長（105町）で構成する協議会があり、住民の意見や要望を伝える役割を担っていた。

告示後住宅の防音工事については、来年度配備されるF-35Aの影響も勘案して、令和8年度には第一種区域の見直しや、防音工事の対象拡大も図られる予定である。横田基地もオスプレイが配備され、騒音だけでなく振動被害も加わっており、住宅防音工事などの配慮を手厚くすべきではないだろうか。

また、防衛省などの補助金については、昭和35

年（小松基地開設）から令和5年度までに合わせて153件、1,814億円の交付実績があり、ハード事業のほか、教育・文化・スポーツなどのソフト事業でも多様な活用がなされていた。特に、補助対象として考えられるものが補助金・交付金活用表としてメニュー化されている点は町も参考にすべきだと感じた。



小松飛行場での現地視察

◎委員長 ○副委員長

◎小川 龍美 ○大坪 国広
森 亘 榎本 義輝 井上 一也
奥泉 淳広 高橋 洋子 山崎 栄（議長）